



2011・10・17

第 151 号

101-0065 東京都千代田区
西神田 2-5-7 神田中央ビル 303

TEL 03-3221-5075

FAX 03-3221-5076

全国交流集会成功へ準備すすむ

急がれる参加者の登録

第4回九条の会全国交流集会にむけての準備が急ピッチにすすめられており、これまで全体会、特別分散会の報告者のほとんどが決定しました。(報告時間は各12分で、じっくりと教訓を語っていただき、特別分科会の報告には質問もできます)。

なお、過去3回の交流集会に比して参加者の登録が遅れています。参加証の確実な送付などに一定の時間の余裕が必要です。

(申込み要項は「ニュース」150号または九条の会HPを参照)

<全体会報告者>

○岐阜／つけち九条の会…有権者過半数署名の取り組みから住民過半数署名達成にいたる道のり

○宮城／女川九条の会…震災の被害・女川原発問題と九条の会

○福島県九条の会…原発震災と九条の会の運動

○大阪宗教者九条ネットワーク…幅広いネットワークをいかに築いたか

○群馬／前橋5中地区九条の会…中学校区に九条の会を結成したきっかけと工夫した点

<特別分科会報告者>

○宮城／山元町九条の会…震災被害の実態、復興への取り組みと九条の会の役割

○沖縄／大宜味村九条を守る会…基地反対のたたかいと九条の会の活動

○佐賀／唐津・東松浦地区日本国憲法九条の会…玄海原発問題と九条の会の活動

○福島／小高九条の会…地域のつながりの復活にむけての活動

○富山／水橋九条の会…域内全所帯を対象にした機関紙活動

(上記のほか2～3人予定)

分野の「会」が活発に

【あきた宗教者九条の和】 「あきた宗教者九条の和」は10月1日、秋田市のカトリックあきた教会で、「平和と九条を護る講演会V」を開きました。講演会では元東北大学教員の川端純四郎氏が「私たちの命と暮らしを守る憲法九条～東日本大震災を経

験して」と題して講演。「原発問題には、政治的、経済的、社会的、倫理的な多くの問題が複合している」ことを解き明かし、ドイツの脱原発の動きなども紹介しました。

「もっとメディアを使った発言はできないか」などの発言や質問がだされました。

【あきた女性九条の会】 「あきた女性九条の会」は10月1日、3周年のつどいをひらき、50人が参加しました。

つどいでは秋田大学教育学部の三宅良美准教授が「女、母、人権のことば」と題して講演しました。13歳の時に日本軍の「慰安婦」にされた女性の日本に賠償と謝罪を求めるたたかいや、パレスチナの子どもの教育につくした女性のたたかいを映像を通じて紹介し、「戦争をしないと定めた9条を言葉だけにしてはならない」とよびかけました。

「平和に生きる権利」掲げて

【障害者・患者9条の会】 障害者・患者9条の会は9月3日、「平和に生きる権利」をテーマに学習会を開きました。よびかけ人の一人、吉本哲夫さん（障害者の生活と権利を守る全国連絡協議会会長）は、「平和な国を実現するために」運動を広げることがよびかけました。

原爆被害者の心のケアに取り組む精神科医の中澤正夫さんが「原爆から原発を見る」と題して講演し、「放射能被害による障がい者や患者をつくらないために、原発をなくさないといけません。私たち一人ひとりに未来への責任がある」と語りました。

【スポーツ9条の会】 スポーツ9条の会は9月9日、千葉県・松戸市内で「放射

能汚染と健康・スポーツを考える」と題した講演会を開き、約50人が参加しました。

集会では、元千葉県勤労者山岳連盟会長で放射線生物学研究者の古瀬健さんが講演。古瀬さんは、放射線被ばくと対策の歴史を紹介するとともに、今回の原発事故の人体への影響について、「胎児期の感受性が高い」ことへの懸念を語るとともに、子どもの甲状腺がんへの国の対策がまったくなかったことを批判しました。

会の永井博事務局長は、「原発ゼロに向け、スポーツ分野から貢献したい」とあいさつしました。

大阪の2条例案を厳しく批判

【大阪・ひらかた九条の会】 大阪では橋下徹府知事が府議会に提出した教育基本条例案と職員基本条例案にたいし、広範な府民の反対の声がたかまっています。

こうしたなか、大阪府枚方市の「ひらかた九条の会」は9月23日、小説「バッテリー」の作者・あさのあつこさんを迎え「講演と文化のつどい」を開き、500人が参加しました。

あさのさんは、「教育は国から自立したところがないといけません。何でも押し付けたりしてはいけないことは、戦前の日本を見てもわかります」と語り、「憲法を守る運動は、おとなである私たちが希望をもって生きていく姿を子どもたちにみせるものです」と語りました。

枚方市の中学校教師も、「子どもに元気をもっている。力でおさえつける教育はだめです」と条例案阻止にむけて運動をしていく決意を語りました。